

【2023年12月本委員会検討単語】…10語 創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

番号	時事用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1	ルーター	ネットワーク間の接続をおこなう機器の1つ。複数の異なるネットワークの間に存在し、データを中継する役割がある。(So-net公式)  モデム(ネット回線の信号をデジタル信号に変換する装置)やONU(光回線の終端装置)が回線の信号から変換したデジタル信号を、ルーターが複数のパソコンやスマホなどの端末へ送受信します。 ルーターの接続方法は、LANケーブルでパソコン等に接続する「有線接続」と、LANケーブルを使用せず「無線接続」の2種類がある。(eoコラム)		北海道	○	右手「こぶし」 + 指文字「ル」を回る	○ 合成	9班の案を見ると、いろいろな案が出されたが、ルーターは箱だけではなく、丸形のものもある。また、ネット環境という意味を伝えることが大切。そこで、北海道班の案が最も良いということで、意見が一致した。  ⇒左手拳、右手指文字<ル>で<環境>の動作(指文字<ル>と<環境>の合成)  ※北海道班の案を採用
				東北	◎	「ル」の指文字 + 「人差し指」		
				関東	◎	小指下側で立てた左手指先から、右手を前方へ動かし開く。		
				北信越	ア	左手で「C」を平たくした形を表し、その上に右手3本指で半円を描く(「Wi-Fi」のアレンジ)		
				東海	◎	左手で指文字「る」、右手でルーターの形状を表す		
				近畿	◎	まず箱に見立てて、指4本を差し込む		
				中国	●	通じる + 箱		
				四国	◎	左手で指文字ラ(R) + 右手人差し指を当てる(アクセス) + 左手から電波が広がる様子		
				九州	ア	非利き手(指文字のル) + 利き手でルータの幅を表現		
2	預かり保育	幼稚園の通常の教育時間の終了後などに幼稚園で預かってもらう延長保育のことです。そのため普段通っている園児が預かりの対象となります。(保育士ワーク)		北海道	●	「保育」 + 「延長」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、さまざまある。「預かり保育」とは、延長保育の意味だが、標準手話でそのまま組み合わせると、3動作になる。中国班の案が、シンプルで良いということで意見がまとまった。  ⇒<延長> + <世話> (<保育所>の2動作目)  ※中国班の案を採用
				東北	●	「時間を延長する」 + 「世話」		
				関東	●	「延長」 + 「預ける」 + 「世話をする」		
				北信越	●	幼稚(幼稚園の園を省いた表現) + 延長		
				東海	●	預かる + 保育		
				近畿	●	保育 + 延長		
				中国	●	時間延長 + 世話		
				四国	●	/延長/ + /保育/		
				九州	●	保育 + 預ける		
3	乳児院	保護者の養育を受けられない乳幼児を養育する施設。乳幼児の基本的な養育機能に加え、被虐待児・病児・障害児などに対応できる専門的養育機能を持つ。(厚労省HPより)		北海道	●	「赤ちゃん」 + 「施設」 (<こどもA>の表現)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、さまざまある。標準手話<乳児(未発表)> (ミルク + こどもA) はあるが、北海道班の案がシンプルで良い。<こどもA>の表現は、赤ちゃんをあやすイメージがある。  ⇒<こどもA> + <施設>  ※北海道班の案を採用
				東北	●	「赤ちゃん」 + 「世話」 + 「施設」		
				関東	●	「預ける」 + 「施設」		
				北信越	●	赤ちゃん + 守る + 場		
				東海	●	乳 + 子ども + 院		
				近畿	●	乳児 + 育てる		
				中国	●	救い + 場		
				四国	●	/ミルク/ + /赤ちゃん/ + /施設/		
				九州	●	乳幼児 + 施設		
4	知育	ハーバート・スペンサーが1861年に提唱した「教育論」のなかで提唱された教育の基本原則(三育…知育・徳育・体育)の中の1つ。子どもの基礎知識や思考力、創造力、集中力、問題解決能力などの能力を育てることで、学習の土台を築くもの。(ママ賃貸より)		北海道	●	「知恵」 + 「教養」	<知育> ● 組み合わせ  <食育> ● 組み合わせ  <徳育> ● 組み合わせ  <才育> ● 組み合わせ  <体育> ● 組み合わせ	「教育の基本」には「五育」があるので、あわせて検討することに。  <知育> ⇒<知識> + <育てる> (2回) ※東北班・関東班・近畿班・四国班・九州班の案を採用  <食育> ⇒<食べる> (1回) + <育てる> (2回) <徳育> ⇒<常識・モラル・マナー・エチケット・道徳・信義> (1回) + <育てる> (2回) <才育> ⇒<力・能力・〜権> + <育てる> (2回) <体育> ⇒<体・身柄・五臓六腑・身分・身体> + <育てる> (2回)
				東北	●	「知識」 + 「育てる」		
				関東	●	「賢い」 + 「育てる」		
				北信越	●	知識 + 訓練		
				東海	◎	こめかみに右手の指文字「ち」を当て、左手で「育てる」		
				近畿	●	知識 + 育てる		
				中国	●	偉い + 教える		
				四国	●	/知識/ + /育てる/		
				九州	●	知識 + 育てる		
5	偏食	特定の食べ物ばかりを好んだり、特定の食べ物ばかりを嫌ったりする程度が激しい状態をいう。「わがまま」「親のしつけが悪かったんだろう」「食わず嫌いでは？」などと眉をひそめる人が多いかも。(発達ナビより)		北海道	●	左手の上に右手を振る + 「食べる」	<はじき出す> △ ラベルの追加  <偏食> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、近畿班の幅を狭くする表現が、色々ある食べ物の中でこれだけしか食べないといった意味に合うという意見もあったが、検討した結果、関東班の案が、嫌いなものをはじき出して食べる様子をイメージできるということで意見がまとまった。  <はじき出す> ⇒<除けものにする・排除する> (指先で) と同じ  <偏食> ⇒<除けものにする・排除する・はじき出す>を2回 + <食べる> (2回)  ※関東班・班の案を採用
				東北	●	「除ける」 + 「食べる」		
				関東	●	「はじき出す」 + 「食べる」		
				北信越	ア	集中(中央から外して表現) + 食べる		
				東海	ア	「偏見」を流用し「曲がる」 + 「食べる」		
				近畿	ア	幅を狭くする + 食べる		
				中国	△	除く		
				四国	●	/偏る/ + /食べる/		
				九州	●	それる + 食べる		
6	子ども家庭庁	2023年4月1日に、「こどもまんなか社会」の実現を目的として発足した国の省庁。「こどもまんなか社会」とは、「常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に据える」ことを意味する。(Gooddo より)		北海道	●	「子ども」 + 「家庭」 + 「庁」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、こどもの表現が異なる。<こどもA> (両手を左右に振る)にするか、<こどもB> (片手でこどもの背丈)にするか検討した結果、<こどもA>は赤ちゃんのイメージが良いので、この場合は、<こどもB> (片手でこどもの背丈)を採用することに。  ⇒<こどもB> (こどもの背丈) + <家庭> + <庁>  ※北信越班・四国班・九州班の案を採用
				東北	●	左手「家庭」 + 右手「子ども」 + 「庁」		
				関東	ア	左手「屋根」の下で「子ども」 + 「庁」		
				北信越	●	子ども + 家庭 + 庁		
				東海	●	子ども + 家庭 + 庁		
				近畿	●	子ども + 家庭 + 庁		
				中国	●	子供 + 家庭 + 庁		
				四国	●	/子ども/ + /家庭/ + /庁/		
				九州	●	子ども + 家庭 + 庁		
7	協働	同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと。(goo国語辞書より)		北海道	●	①「一緒」 + 「働く」 ②「お互い」 + 「働く」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、1動作目が、一緒、協力し合う、共になどに分かれている。対等のイメージ、または協力し合う表現かで意見が分かれたが、検討した結果<協力し合う> (各1回)を採用することに。  ⇒<協力し合う> (各1回) + <職業・仕事・働く・作業・稼働・勤務・職・事業>  ※東海班・中国班・四国班の案を採用
				東北	●	「共に」 + 「活動」		
				関東	●	「助け合う」 + 「仕事」		
				北信越	●	助ける + 助けられる + 働く		
				東海	●	協力 + 働く		
				近畿	●	一緒 + 働く		
				中国	●	協力 + 働く		
				四国	●	/助け合う/ + /働く/		
				九州	ア	一緒(つけない) + 働く		

8	査定	金額・等級・合否などを調査したうえで決定すること。 (例:「税額を査定する」「勤務態度を査定する」など) (goo国語辞書より)	北海道	●	「調べる」+「決定」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、調べると評価に分かれている。検討した結果、<調べる>+<決めるC> (右手2指を左手掌に打ちつける)を採用することに。 ⇒<調べる>+<決めるC> (2指) ※北海道班・東北班・関東班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	「調べる」+「決める」		
			関東	●	「調べる」+「決まる」		
			北信越	●	評価 + 決める		
			東海	●	評価 + 決定		
			近畿	●	調査 + 決める		
			中国	●	調べる + 決める		
			四国	●	/調べる/ + /決める/		
			九州	●	調べる + 決める		
9	孤食	家族が不在の食卓で、ひとりで食事すること。単身世帯や夫婦のみの世帯、ひとり親世帯の増加による「一緒に食べる人がいない」ケースも増えている。 (通信教育・通信講座のがくぶんより)	北海道	●	「一人」+「食べる」	△ 組み合わせ	9班の案を見ると、自分自身、独身(親指の班と人差指の班がある)などがある。<黙食>や<偏食>との整合性を考えると、<独身>+<食べる>(2回)の表現が合うということに。標準手話の<独身>にラベルを追加して組み合わせることに。 △ <一人ぼっち> ● 組み合わせ
			東北	●	「独身」+「食べる」		
			関東	●	「独身」+「食べる」		
			北信越	●	孤独 + 食べる		
			東海	●	孤立 + 食べる		
			近畿	ア	孤独 + 食べる		
			中国	●	孤独 + 食べる		
			四国	●	/独り/ + /食べる/		
			九州	●	孤独 + 食べる		
10	食生活改善	食生活の問題点を検証して、それを改善する行動。(コトバンクより) 肥満や高脂血症、糖尿病など生活習慣病の原因の1つ。 【注意すべき食生活週間】 ・毎日同じ物ばかり食べている ・野菜が不足している ・甘い物やアルコールを飲食することが多い ・暴飲暴食しがち (ニチレイフーズダイレクトより)	北海道	●	「食」+「生活」+「改善」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、だいたい同じ表現だが、微妙に標準手話と異なる。標準手話の<改善(わ6-189)>は、良い+改める(5指で1回交差)。手話の数が多くなるので改める>だけでも良いということで意見がまとまった。 ⇒<食べる>(1回)+<生活>+<改める・～化・変わる(なる)・代替A>(1回) ※班の案の採用なし
			東北	●	「生活」+「食べる」+「改善」		
			関東	●	「食」+「生活」+「変わる(両手5指で)」を2回		
			北信越	●	食べる + 生活 + 変える		
			東海	●	食べる + 生活 + 改善		
			近畿	●	食事 + 良い + 変える		
			中国	●	食事 + 生活 + 改善		
			四国	●	/食事/ + /生活/ + /良い/ + /変える/		
			九州	●	食べる + 生活 + かえる		

【デフリンピック2025関連用語】…10語

1	機運醸成・盛り上げる	事を成すために最適な時期を得られるよう、徐々に状況を作り上げること。 (語彙力辞典)	北海道	ア	「盛り上がる」	ア アレンジ	9班の案を見ると、盛り上げるイメージの表現と組み合わせた案が多いが、1動作だけで良いのでは、ということで意見がまとまった。状況に合わせて、スピードなど工夫する。 ⇒掌上向きの両手を少し前方で下から風を起すように上げていく (<盛り上がり(わ3-170)>のアレンジ) ※近畿班・四国班の案を採用
			東北	●	「もりあがる」+「向上」		
			関東	●	機運醸成:「今」+「盛り上げる」 運醸成:「気持」+「盛り上げる」		
			北信越	●	盛り上げる + 成功		
			東海	●	流行 + 盛り上げる		
			近畿	ア	盛り上げる様子		
			中国	×			
			四国	△	/盛り上がる/		
			九州	ア	成長(右上がり少しずつ)+ 目標		
2	エンブレム	何か特定の事物や概念を象徴し、それを表現するための記号やシンボルのことを指す。一般的に、特定の団体や組織、国家などが自身のアイデンティティを示すために使用する。例えば、オリンピックの五つの色の輪は、五大陸の結束を象徴する「emblem」である。 (Weblio辞書)	北海道	○	左手の「指文字(エ)」に右手人差指をのせる	● 組み合わせ	9班の案を見ると、エとマークの合成表現などが盛りられるが、ちょっと分かりづらい。関東班・東海班の指文字<エ>+<文字B・マーク>の表現が分かりやすいということで意見がまとまった。 ⇒指文字<エ>+<文字B・マーク> ※関東班・東海班の案を採用
			東北	◎	前に向けた左掌に右手「エ」の指文字をつけて同時にあげる		
			関東	◎	右手指文字「エ」を出して、立てた左掌につける		
			北信越	ア	縦にした左掌に右手指文字の「エ」を当てる		
			東海	◎	指文字「え」を表した後、「マーク」		
			近畿	ア	①手のひらに「エ」前に置く、②手のひらに「エ」を押す		
			中国	○	E指文字 + マーク		
			四国	○	/表現する/ の掌に/証拠/の表現を加える		
			九州	ア	非利き手は「テ」+ 利き手「エ」を、非利き手の掌につける		
3	デファスリート	「デファスリート」の意味はネットに無し。デフ=耳が聞こえないアスリート=「athlete」は、スポーツや運動競技において、高い技能や身体能力を持ち、競技に参加する人物を指す英単語。 (Weblio辞書)	北海道	●	「デフ」+「選手」	△ 組み合わせ	9班の案を見ると、「デフ」の表現がバラバラ。アルファベット<d>を、耳、口の順にあてる表現を採用し、組み合わせることに。 <デフ> ⇒アルファベット「d」を耳、口の順にあてる <デファスリート> ⇒<デフ>+<選手・アスリート> ※東北班・四国班・九州班の案を採用
			東北	●	「ろう」+「選手」		
			関東	●	「ろう」+「選手」		
			北信越	●	デフ + 選手		
			東海	●	デフ + 選手		
			近畿	●	ろう + 選手		
			中国	●	デフ + 選手		
			四国	●	/デフ/ + /選手/		
			九州	●	デフ + 選手		
4	デフスポーツ	「デフスポーツ」の意味はネットに無し。視覚的な情報保障や手話などによってコミュニケーションを工夫し、聞こえない選手同士で条件をそろえて競技するスポーツ。 (パラスポーツスタートガイドの「デフスポーツ」というページ内)	北海道	●	「デフ」+「競技」	△ 組み合わせ	「デファスリート」と同様に、スポーツA・Bの表現を、それぞれ組み合わせることに。 <デフスポーツA> ⇒<デフ>+<スポーツB>(5指) ※東北班・四国班・九州班の案を採用 <デフスポーツB> ⇒<デフ>+<競技・スポーツC>
			東北	●	「ろう」+「スポーツ」		
			関東	●	「ろう」+「スポーツ」		
			北信越	●	デフ + スポーツ		
			東海	●	デフ + スポーツ		
			近畿	●	ろう + スポーツ(2パターン)		
			中国	●	デフ + スポーツ		
			四国	●	/デフ/ + /スポーツ/		
			九州	●	デフ + スポーツ(両手はテ)		

5	デフスポーツ・サポーター(制度)	デフスポーツの発展のため、(一財)全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が2023年からスタートした制度。連盟の取り組みに賛同する者が入会する。年会費は個人3000円/口、民間団体3万円/口、企業・法人10万円/口。(連盟スポーツ委員会HPを参考に要約)	北海道	● 「デフ」 + 「競技」 + 「サポーター」	<デフスポーツ・サポーターA> ● 組み合わせ <デフスポーツ・サポーターB> ● 組み合わせ	「デフスポーツ」と同様に「A」「B」を作る。標準手話の<サポーター>はあるが、旗を振って応援する人々の表現なので合わない。この場合は、金銭面の支援をすること。標準手話の<サポート/支援・救援>は左手人差指を右手掌で軽く1回たたきだけ。 <デフスポーツ・サポーター(制度)A> ⇒<デフ>+<スポーツB(5指)>+<サポート/支援・救援>(1回) <デフスポーツ・サポーター(制度)B> ⇒<デフ>+<競技・スポーツC>+<サポート/支援・救援>(1回)
			東北	● 「ろう」 + 「スポーツ」 + 「支援」		
			関東	● 「ろう」 + 「スポーツ」 + 「助ける」		
			北信越	● デフ + スポーツ + 支援		
			東海	● デフ + スポーツ + 手伝う + 人々		
			近畿	● ろう + スポーツ (2パターン) + 支援する		
			中国	● デフ + サポート		
			四国	● /デフ/ + /スポーツ/ + /助ける/ + /人々/		
			九州	● デフ + スポーツ + 支える		
			6	視覚的情報保障		
東北	◎ 「目から情報を得る」 + 「保障」					
関東	● 「見る」 + 「情報保障」					
北信越	● 情報(耳ではなく目に向けて表現) + 保障					
東海	● 見る + 情報 + 保障					
近畿	ア 目から情報をとらえる様子 + 保障					
中国	● 読み取り + 情報 + 保証					
四国	● /視覚/ + /的/ + /情報/ + /保障/					
九州	● 目の位置で情報を表す + 保障					
7	デフリンピック・ムーブメント	「デフリンピック・ムーブメント」の意味はネットに無し。デフリンピック=耳が聞こえない人のオリンピック。ムーブメント=動き・動作・運動のことを意味する英語表現(Weblio辞書)。主張をもった集団の行動。(外来語辞典(1914))  文化や音楽スタイル、ファッションなどを巻き込んだ大きな流れ、流行のこと。フラワー・ムーブメント、パンク・ムーブメントなどという。(音楽用語辞典)			北海道	● 「デフリンピック」 + 「運動」
			東北	● 「デフリンピック」 + 「活動」		
			関東	● 「デフリンピック」 + 「活動」		
			北信越	● デフリンピック + 盛り上げる		
			東海	● デフリンピック + 機運醸成		
			近畿	ア デフリンピック + 盛り上げる		
			中国	△ デフリンピック + 流行り		
			四国	● /デフリンピック/ + /活動/		
			九州	● デフリンピック + 流行		
			8	フラッシュランプ	「フラッシュランプ」の意味はネットに無し。商品名か。ほかに「フラッシュライト」「光るチャイム」「ピカフラッシュ」「フラッシュベル」など(聴覚障害支援用品ガイド等)厚労省の告示文には自立生活支援用具の項目に「聴覚障害者屋内信号装置」とある。(厚生労働省)追記 デフポータル <a href="https://deafsport.com/about/2/">https://deafsport.com/about/2/</a> では、競技上に必要な音声や審判の合図を知らせるとして「フラッシュランプ」の語が使われている。	北海道
東北	◎ フラッシュランプが光る様子を表現					
関東	◎ 5指を丸め小指下で立てた左手の上で、右掌上に向け5指をつけたり開いたりする。					
北信越	保 掌を閉じたり開いたり					
東海	◎ 左手でCを作り、右手で点滅を表す					
近畿	◎ 信号のように下にあるランプを点滅させる様子					
中国	● ランプ					
四国	保 光が点滅する様子					
九州	○ ランプ(光の方向、位置によって変更させる)					
9	ポータルサイト	Web上ではインターネットをアクセスする際に、最初に訪問するサイトのことを「ポータルサイト」と呼ぶ。ポータルとは、門や入口を意味し、特に大きな建物の門に使われた言葉。このことから、ウェブにアクセスするために、様々なコンテンツを有する、巨大なサイトをポータルサイトと呼ぶようになった。代表的なポータルサイトとして、GoogleやYahooなどの検索エンジンサイトがある。ポータルサイトのメリットは、インターネット上に散らばっている情報の中から、ユーザーが自分にとって必要な情報だけを検索などを通して、簡単に探し出せることが挙げられる。(お多福ラボ)				北海道
			東北	● 「クリックする様子」 + 「サイトが表示される様子」を表現		
			関東	◎ 人差指でスイッチを押す+両手開き指先向合せて上へ動かす。		
			北信越	● 一番 + ホームページ		
			東海	● ホームページ + 場所		
			近畿	● 専門 + ホームページ		
			中国	● アクセシビリティ + HP		
			四国	○ /インターネット/ + 右手で/始める/		
			九州	○ 指文字「ポ」 + HP		
			10	知名度	世間にその名が知られている度合い。(goo辞書)	北海道
東北	◎ 「知る」 + 「割合」					
関東	◎ 顔の前で両手2指で円を作り、2回広げながら後ろに引く。					
北信越	● 有名 + 率					
東海	● 有名 + 程度					
近畿	● 有名 + 度合					
中国	△ 有名					
四国	○ /有名/ + /程度/					
九州	● 有名 + 非利き手の掌にそわせて、利き手を上下させる					
追加11	レスリング(フリースタイル)	全身を自由に使って防衛・攻撃を行うスタイル。フリースタイルでは体のどの部分を攻撃してもよく、足や腕を使ってライバルの足をホールドすることも可能なので、足を曲げた低姿勢で行われる。全身に攻撃できるため、タックル中心の試合展開になることが多い。				北海道
			東北	● 「全体」 + 「レスリング」		
			関東	△ 「レスリング」		
			北信越	保 両手の指文字「ロ」を絡ませる(レスリングの手話)		
			東海	● フリー + レスリング		
			近畿	ア レスリング + 自由		
			中国			
			四国	○ 指文字G(国際・あるいは日本の指文字表現) + /レスリング/		
			九州	● 全身 + レスリング		



追加 12	レスリング(グレコローマン)	上半身のみを使って防御・攻撃を行うスタイル。グレコローマンレスラーは、相手の腰から下を掴むことは禁じられている。下半身が攻撃されることはないため、足を曲げる必要はなく、レスラーはほぼ立った状態でぶつかり合う。投げ技、寝技が多い。	北海道	○	①「上半身」+ レスリング ②「立つ」+ レスリング	● 組み合わせ	「レスリング(フリースタイル)」と同様に、まずレスリング>を表してから上半身>を表すことに。 ⇒<レスリング>+<上半身> ※近畿班の案を参考
			東北	●	「上体」+ 「レスリング」		
			関東	◎	両手親指を重ね、逆方向にねじり合う。		
			北信越	●	上半身 + 両手の指文字「ロ」を絡ませる		
			東海	●	上半身 + レスリング		
			近畿	ア	レスリング + 上身		
			中国				
			四国	○	指文字F (国際・あるいは日本の指文字表現) + /レスリング/		
			九州	●	上半身 + レスリング		

【障害者権利条約】第1次より12月検討…40語

1	固有	①他から与えられたのではなく、もとからあること。(例:「人間固有の精神」など) ②そのものだけにあること。特有。(例:「日本に固有な文化」「障害者固有の尊厳」など)	標準手話なし(「固有名詞」などもない)	北海道	○	左手「有る」+ 「固い」	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、必ず、～だけ、個人などさまざまある中、関東班の表現がシンプルで良いということで意見がまとまった。 ⇒<持つ・享有>と同じ ※関東班の案を採用
			東北	●	「固い」+ 「決める」			
			関東	◎	「持つ」をゆっくり。			
			北信越	△	必ず(5本指で表現)			
			東海	●	固 + 在る			
			近畿	ア	だけ			
			中国	△	個人			
			四国	△	指先を握り合う表現(決まっている 定まっているの意味)			
			九州	●	非利き手グーの甲をみせる + かたい			
			2	意思疎通	お互いが考えていることを伝え、理解や認識を共有することを指す。(Chatworkより) 第二条 定義 「意思疎通」とは、言語、文字表記、点字、触覚を使った意思疎通、拡大文字、利用可能なマルチメディア並びに筆記、聴覚、平易な言葉及び朗読者による意思疎通の形態、手段及び様式並びに補助的及び代替的な意思疎通の形態、手段及び様式(利用可能な情報通信技術を含む。)をいう。	標準手話なし(<意志・意思(わ4-66・新II-118・学I-10)>+一致B・合うB・疎通(2018-66)>)?		
東北	●	「心」+ 「通じる」						
関東	●	「気持」+ 「通じる」						
北信越	●	気持ち + 通じる + 通じる						
東海	●	意思 + 通じる						
近畿	●	心 + 通じる						
中国	●	気持ち + 通じる						
四国	●	/意思/ + /通じる/						
九州	●	気持ち + 通じる						
3	拡大文字	ワープロソフトやワープロ専用機で使われる文字で、標準サイズの文字に対して縦横方向に整数倍拡大した文字を指す。(IT用語辞書より)				標準手話なし(<大きくする・増幅・大規模・拡大B・メガB(2017-80)>+<文字B・マーク(2013-83)>)?	北海道	●
			東北	●	「のせる」+ 「アップ」			
			関東	●	5指を軽く曲げた右手を前方2カ所に置く + 「拡大」			
			北信越	●	文字 + 拡大			
			東海	●	拡大 + 文字			
			近畿	ア	文字 + 拡大			
			中国	●	拡大 + 文字			
			四国	●	/拡大する/ + /文字/			
			九州	●	拡大 + 文			
			4	音声言語	(身振りや文字による表現に対して)音声による言語。口から耳にという経路によって伝達される言語。話しことば。(コトバンクより)	標準手話なし	北海道	●
東北	●	「声」+ 「言語」						
関東	●	「声」+ 「言語」						
北信越	●	声 + 言語						
東海	●	声 + 言語						
近畿	●	音声 + 言語						
中国	●	声 + 言語						
四国	●	/音声/ + /言語/						
九州	●	声と言語を合わせて表現						
5	非音声言語	ジェスチャー(身振り手振り)、姿勢、動き(うなずきや振る舞い全般)、表情、声のトーン(強弱や早さ、間)などのことを指す。				標準手話なし	北海道	○
			東北	●	「非」+ 「声」+ 「言語」			
			関東	●	「非」+ 「声」+ 「言語」			
			北信越	●	言語 + 以外			
			東海	●	非 + 声 + 言語			
			近畿	●	非 + 音声 + 言語			
			中国	●	非 + 声 + 言語			
			四国	●	/非/ + /音声/ + /言語/			
			九州	●	非 + 声と言語を合わせて表現			
			6	障害に基づく差別	権利条約第2条:「障害に基づく差別」とは、障害に基づくあらゆる区別、排除又は制限であって…(以下略) 障害者権利委員会一般的意見6:障害に基づく差別は、直接差別や関連差別、合理的配慮の不提供の他にも、間接差別、ハラスメント、交差差別/複合差別が含まれている	標準手話なし	北海道	●
東北	●	「障害」+ 「指差し」+ 「差別」						
関東	●	「生涯」+ 「表現」+ 「差別」						
北信越	●	障害 + 基 + 差別						
東海	●	障害 + よる + 差別						
近畿	●	障害 + 基づく + 差別						
中国	●	障害 + 理由 + 差別						
四国	●	/障害/ + /基づく/ + /差別/						
九州	●	障害 + よる + 差別						

7	差異	他のものと異なる点。ものとの違い。差。 (例:「両者の能力になんら差異はない」など) (goo国語辞書より)	標準手話なし	北海道 ア 両手を引き寄せ、右手を少し下げる 東北 ● 「そぐあわない」 + 「ない」 関東 ◎ 両手で指文字「コ」。指先を向い合せ互い違いに上下。 北信越 △ 差(両手の開きは小さく表現) 東海 △ 違う に同じ 近畿 △ 違う 中国 △ 違い 四国 ア /違う/ の表現の動きを少しだけにする 九州 保 差(動かす幅は大きすぎず)	ア アレンジ	9班の案を見ると、<違う>の表現が多く、それを採用することで、意見がまとまった。 ※標準手話の<違う>は片手の表現 ⇒<違う>を両手で ※東海班・近畿班・中国班の案を採用
8	均等	二つ以上の物事の間が互いに平等で差がないこと。また、そのさま。	標準手話なし(学I-197では(公平・均等)ある。また、学II-181では(均一・均等)はある)	北海道 ア 2指を前に向けて少し開いた両手を引き離す 東北 ● 「五分五分」 + 「セーフ」 関東 ◎ 両手で指文字「コ」。向い合せた指先を数度つける。 北信越 ● 五分五分 + 平等 東海 既出 同じを左右に広げる 近畿 ア 「同じ」を表現しながら回す 中国 △ 対等 四国 △ 両手の平を左右に動かす(同等)の意味 九州 保 平 + 平等	<均等A> △ ラベルの追加 <均等B> △ ラベルの追加	9班の案を見ると、五分五分や平等などの表現が見られる。 標準手話としてのラベルは無いが『学習辞典』にはラベルがあるので、そのまま標準手話とするか意見が分かれたが、<均一><公平>にラベルを追加することに。 <均等A> ⇒<均一>と同じ <均等B> ⇒<公平>と同じ ※班の案の採用なし
9	保持	①保ちつづけること。持ちつづけること。 (例:「タイトルを保持する」など) ②心理学で、記憶痕跡が存続していること。一度記憶したことが潜在的に残っていること。把持(はじ)。 (goo国語辞書より)	標準手話なし	北海道 ア 「持つ」 + 「続ける」 東北 ● 「持つ」 + 「続ける」 関東 ◎ 甲を下側に握った右手拳を、ゆっくり前に出す。 北信越 ア 「持つ」の手話を前方に出す 東海 ◎ 「持つ」を前に突き出す(持ち続ける) 近畿 ● 持つ + 続ける 中国 △ 身につけて続ける 四国 ○ /保存/ + 右手で/維持/の動き 九州 保 利き手をグーにして前に出す	ア アレンジ	9班の案を見ると、北海道班、関東班、東海班などの表現がシンプルで良い、ということで意見がまとまった。 ⇒<持つ・享有>に続けて、前に出す ※北海道班・関東班・東海班・班の案を採用
10	締約国	条約に批准、加入、あるいは継承している国のこと。	標準手話なし(<契約・締約・ライセンス・締結(わ3-37)> + <国・国家>)?	北海道 ● 「締約」 + 「国」 東北 ● 「批准」 + 「国」 関東 ● 「契約」 + 「国」 北信越 ● 契約 + 国 東海 ● 契約 + 国 近畿 ● 締約 + 国 中国 ● 結ぶ + 結ぶ + 国 四国 ● /契約/ + /国/ 九州 ● 契約 + 国	● 組み合わせ	9班の案を見ると、だいたい同じ表現。 <批准>を使う班もあるが、<契約・締約>を使うことに。 ⇒<契約・締約・ライセンス・締結> + <国・国家> ※北海道班・北信越班・東海班・四国班・九州班の案を採用
11	法的保護	法律によって保護されていること。例えば、個人情報保護法では、「個人情報提供を第三者に提供する場合は、あらかじめ本人の同意が必要」とされている。これに違反し、この件に関する個人情報保護委員会の改善命令にも違反した場合、刑事罰が課せられる。これを個人情報の「法的保護」という。	標準手話なし(<法・法律> + <合う・～的> + <(旧)優生保護法(2019-86)>の③④)?	北海道 ● 「法」 + 「的」 + 「保護」 東北 ● 「法」 + 「保護」 関東 ● 「法」 + 「保護」 北信越 ● 法 + 保護 東海 ● 法律 + よる + 保護 近畿 ● 法 + 的 + 保護 中国 ● 法 + 的 + 保護 四国 ● /法/ + /的/ + /保護/ 九州 ● 法 + 的 + 保護	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<合う・～的>がある班、無い班に分かれる。検討した結果、「法律を保護する」と間違わないよう、<合う・～的>を使うことに。 標準手話の<保護>は、両手指文字「ホ」で表すことに留意。 ⇒<法・法律> + <合う・～的> + <保護> (両手「ホ」で<守る>の動作) ※北海道班・四国班・九州班の案を採用
12	事実上	表向きの体裁は別にして、実態としてはそうである・そう言わざるを得ない、といった情況を示す際に用いられる言い方。例えば、たとえば、法的に婚姻関係を結んではいないが長年にわたり夫婦同然の関係を続けていれば事実上の夫婦と言い得る。	標準手話なし(<事実(本当+事)> + <先輩(学I-115)>)?	北海道 ● 「コ(事)」 + 「事実」 + 「以上」 東北 ● 「本当」 + 「そうそう(同じ)」 関東 ◎ 「本当、事実」を表しあごを引く。 北信越 ● 内 + 本当 東海 ○ 事実の後、右手で同じを表す 近畿 ア 事実 + うなづく (本当のことだというニュアンスで) 中国 ● 事実 + 上 四国 ◎ 左手で/事/ + その小指側に右手で/本当/ + 手の甲を撫でる(表) 九州 ● 本当 + 以上	ア アレンジ	9班の案を見ると、標準手話の<事実>(本当+事)を使う班があるが、どうするか? 他に適切な表現が無いが検討。 また、「上」が無い方が手話らしいという意見もあり、関東班・近畿班の案を採用することに。 状況によっては、近畿班のように、「本当のことだ」というニュアンスの表情がポイント。 ⇒<本当>を強く(少しうなづく) ※関東班・近畿班の案を採用
13	能力開発	能力開発とは、個人やチームや組織の効果を向上させるために実践される成員の学習と発達に関する組織的・体系的な取り組みを指す。企業・団体・官庁など組織内で実施される。 (最新心理学事典より)	標準手話なし(力・能力+開発(新I-153))?	北海道 ● 「力」 + 「開発」 東北 ● 「能力」 + 「開発」 関東 ◎ 「思う」 + 「成長」をこめかみから上に表す。 北信越 ● 力 + 開発 東海 ● 力 + 開発 近畿 ● 脳 + 力 + 開発 中国 ● 能力 + 広げる 四国 ● /力/ + /開発/ 九州 ● 効果 + 上がる(斜めに)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、こめかみを指差し<力>を表す班があるが、標準手話の<力・能力>があるので、それを使うことに。 ⇒<力・能力・～権> + <開発> ※北海道班・東海班・四国班の案を採用

14	自律的	そのもの自体だけで調整を行ったり問題を解決したりなどを行うさま。自律していること。(Weblio辞書) 自律とは、価値観や信条、理念や哲学など個人の内的要素に関して、支配や制約を受けずに独り立ちすること。(人事用語集)	標準手話なし(自律(新Ⅲ-135)+合う・～的)?	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「自律」+「的」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「自律」+「的」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「自分自身」+「まっすぐ、直進」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>自分 + 考え + 通す</td></tr> <tr><td>東海</td><td>◎</td><td>自分 + 確認を自分に向けて下におろす</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>自分 + コントロール + 的</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>頭の中真っ直ぐ + 的</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/自立/ + /的/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>自分 + 柱</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	「自律」+「的」	東北	●	「自律」+「的」	関東	●	「自分自身」+「まっすぐ、直進」	北信越	●	自分 + 考え + 通す	東海	◎	自分 + 確認を自分に向けて下におろす	近畿	●	自分 + コントロール + 的	中国	●	頭の中真っ直ぐ + 的	四国	●	/自立/ + /的/	九州	●	自分 + 柱	● 組み合わせ	9班の案を見ると、いくつかの表現に分かれる。標準手話の「自律(新Ⅲ-135)」があるが、この場合に合うかどうか検討した結果、採用することに。  ⇒<自律>+<合う・～的>  ※北海道班・東北班・四国班の案を採用
北海道	●	「自律」+「的」																															
東北	●	「自律」+「的」																															
関東	●	「自分自身」+「まっすぐ、直進」																															
北信越	●	自分 + 考え + 通す																															
東海	◎	自分 + 確認を自分に向けて下におろす																															
近畿	●	自分 + コントロール + 的																															
中国	●	頭の中真っ直ぐ + 的																															
四国	●	/自立/ + /的/																															
九州	●	自分 + 柱																															
15	物理的環境	物理的環境とは、人を取りまく物理的存在であって、人と人工物ではないものを指す。(倉坂秀史「環境政策論」) 物理的環境は、日射の強さや温湿度、風あるいは土壌水分やガス組成などをいい、生育に大きな影響を与える。(農業技術辞典)	標準手話なし(物理(2008-95)はあるが…意味が異なる?)	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「物」+「的」+「環境」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「物」+「環境」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎</td><td>「いろいろ」+両手で急を作り4指を握り込む+「環境」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>自然 + 環境</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>物理 + 的 + 環境</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>物理 + 的 + 環境</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>物 + 環境</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/物/ + 指文字リ + /環境/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>物 + 的 + 環境</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	「物」+「的」+「環境」	東北	●	「物」+「環境」	関東	◎	「いろいろ」+両手で急を作り4指を握り込む+「環境」	北信越	●	自然 + 環境	東海	●	物理 + 的 + 環境	近畿	●	物理 + 的 + 環境	中国	●	物 + 環境	四国	●	/物/ + 指文字リ + /環境/	九州	●	物 + 的 + 環境	● 組み合わせ	9班の案を見ると、物+環境、自然+環境などいくつかに分かれている。標準手話の「物理(2008-95)」があるが、この場合に合うかどうか検討した結果、採用することに。  ⇒<物理>+<合う・～的>+<環境>  ※東海班の案を参考
北海道	●	「物」+「的」+「環境」																															
東北	●	「物」+「環境」																															
関東	◎	「いろいろ」+両手で急を作り4指を握り込む+「環境」																															
北信越	●	自然 + 環境																															
東海	●	物理 + 的 + 環境																															
近畿	●	物理 + 的 + 環境																															
中国	●	物 + 環境																															
四国	●	/物/ + 指文字リ + /環境/																															
九州	●	物 + 的 + 環境																															
16	情報通信機器	液晶テレビ、中小型カラー液晶パネル、大型液晶パネル、プラズマディスプレイテレビカラーテレビ、パソコン向けDVDドライブ、DVDプレーヤーレコーダー、普通紙複写機、カーナビケーショシステム、携帯電話機、ノートパソコン、デスクトップパソコン。(情報通信統計データベース 平成16年版情報通信白書資料編)	標準手話なし(情報+通信B+機器)?	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「情報」+「通信」+「機器」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「情報」+「通信」+「機器」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「情報」+「通じる」+「機械」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>情報 + 通じる + 機械</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>情報 + 通信 + 機械</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>情報 + 通信 + 機械</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>情報 + 通じる + 機械</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/情報/ + /通信/ + /機械/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>情報 + 通じる + 機械</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	「情報」+「通信」+「機器」	東北	●	「情報」+「通信」+「機器」	関東	●	「情報」+「通じる」+「機械」	北信越	●	情報 + 通じる + 機械	東海	●	情報 + 通信 + 機械	近畿	●	情報 + 通信 + 機械	中国	●	情報 + 通じる + 機械	四国	●	/情報/ + /通信/ + /機械/	九州	●	情報 + 通じる + 機械	● 組み合わせ	9班の案を見ると、「情報」は耳の位置で両手を順に表している班が多い。標準手話の「情報」は、片手の表現。<情報B(2022年12月確定)>は、こめかみで斜め前から両手で<情報>の動作。今回は<情報B>を使うこととし、今ある手話を組み合わせることに。  ⇒<情報B>+(こめかみで斜め前から)+<通信B>+(両手人差指を左右斜めから2回近づける)+<機器(指車)>  ※北海道班・関東班・北信越班・東海班・近畿班・中国班・九州班の案を参考
北海道	●	「情報」+「通信」+「機器」																															
東北	●	「情報」+「通信」+「機器」																															
関東	●	「情報」+「通じる」+「機械」																															
北信越	●	情報 + 通じる + 機械																															
東海	●	情報 + 通信 + 機械																															
近畿	●	情報 + 通信 + 機械																															
中国	●	情報 + 通じる + 機械																															
四国	●	/情報/ + /通信/ + /機械/																															
九州	●	情報 + 通じる + 機械																															
17	情報通信システム	「情報通信システム」ではヒットなし。「高度情報通信システム(INS)」:高度情報社会に必要とされる大量の情報を経済的に伝達・通信・処理できる通信システムのこと。information network system。 ※条文の元の単語要確認??	標準手話なし(情報+通信B+システム)?	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「情報」+「通信」+「システム」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「情報」+「通信」+「システム」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「情報」+「通じる」+「システム」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>情報 + 通じる + システム</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>情報 + 通信 + システム</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>情報 + 通信 + システム</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>情報 + 通じる + システム</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/情報/ + /通信/ + /システム/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>情報 + 通じる + システム</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	「情報」+「通信」+「システム」	東北	●	「情報」+「通信」+「システム」	関東	●	「情報」+「通じる」+「システム」	北信越	●	情報 + 通じる + システム	東海	●	情報 + 通信 + システム	近畿	●	情報 + 通信 + システム	中国	●	情報 + 通じる + システム	四国	●	/情報/ + /通信/ + /システム/	九州	●	情報 + 通じる + システム	● 組み合わせ	「情報通信機器」と同様。  ⇒<情報B>+(こめかみで斜め前から)+<通信B>+(両手人差指を左右から2回近づける)+<システム・仕組み>  ※北海道班・関東班・北信越班・東海班・近畿班・中国班・九州班の案を採用
北海道	●	「情報」+「通信」+「システム」																															
東北	●	「情報」+「通信」+「システム」																															
関東	●	「情報」+「通じる」+「システム」																															
北信越	●	情報 + 通じる + システム																															
東海	●	情報 + 通信 + システム																															
近畿	●	情報 + 通信 + システム																															
中国	●	情報 + 通じる + システム																															
四国	●	/情報/ + /通信/ + /システム/																															
九州	●	情報 + 通じる + システム																															
18	屋内	建物の中。(goo国語辞書)	標準手話なし(屋内信号灯・屋内退避などはあるが意味が異なる?)	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>○</td><td>左手「コ」(建物の)+「内」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「家」+「中」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「建物」の中を指さす。</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>家 + 中(中を指さす)</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>建物 + 中</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>家の中</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>家 + 内</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/家/ + /内/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>非利き手で家の屋根 + 内</td></tr> </tbody> </table>	北海道	○	左手「コ」(建物の)+「内」	東北	●	「家」+「中」	関東	●	「建物」の中を指さす。	北信越	●	家 + 中(中を指さす)	東海	●	建物 + 中	近畿	◎	家の中	中国	●	家 + 内	四国	●	/家/ + /内/	九州	●	非利き手で家の屋根 + 内	○ 合成	「屋内」「屋外」をあわせて検討。9班の案を見ると、1動作目が家と建物の表現に分かれている。「屋内」とは家とは限らないとして意見が分かれたが、検討した結果、状況に合わせて「ビル」の表現など使い分けることで良いとして、<家>の表現を使うこととなった。  ⇒<家>の左手そのまま、右手<内・内側>(<家>と<内・内側>の合成)  ※東北班・北信越班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
北海道	○	左手「コ」(建物の)+「内」																															
東北	●	「家」+「中」																															
関東	●	「建物」の中を指さす。																															
北信越	●	家 + 中(中を指さす)																															
東海	●	建物 + 中																															
近畿	◎	家の中																															
中国	●	家 + 内																															
四国	●	/家/ + /内/																															
九州	●	非利き手で家の屋根 + 内																															
19	屋外	建物の外。(goo国語辞書)	標準手話なし	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>○</td><td>左手「コ」(建物の)+「外」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「家」+「外」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「建物」の外を指さす。</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>家 + 外(外を指さす)</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>建物 + 外</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>家の外</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>家 + 外</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/家/ + /外/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>非利き手で家の屋根 + 外</td></tr> </tbody> </table>	北海道	○	左手「コ」(建物の)+「外」	東北	●	「家」+「外」	関東	●	「建物」の外を指さす。	北信越	●	家 + 外(外を指さす)	東海	●	建物 + 外	近畿	◎	家の外	中国	●	家 + 外	四国	●	/家/ + /外/	九州	●	非利き手で家の屋根 + 外	○ 合成	同様に状況に合わせて「ビル」の表現など使い分けることで良いとして、<家>の表現を使うこととなった。  ⇒<家>の左手そのまま、右手<外・外側>(<家>と<外・外側>の合成)  ※東北班・北信越班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用
北海道	○	左手「コ」(建物の)+「外」																															
東北	●	「家」+「外」																															
関東	●	「建物」の外を指さす。																															
北信越	●	家 + 外(外を指さす)																															
東海	●	建物 + 外																															
近畿	◎	家の外																															
中国	●	家 + 外																															
四国	●	/家/ + /外/																															
九州	●	非利き手で家の屋根 + 外																															
20	当該最低基準	「当該最低基準」でネットヒットなし。  当該:いま話題になっている事柄に直接関係すること。まさに、そのもの。また、その担当であること。(goo辞書) 当該は、「その」のかしこまった表現。(Oggj.jp) 最低:高さ・位置・程度などがいちばんひくいこと。(goo国語辞書) 基準:物事の基礎となるよりどころ。また、満たさねばならない一定の要件。(goo国語辞書)	「当該」の標準手話なし	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「当てる」+「最低」+「基準」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「関係」+「最低」+「基準」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「実際、事実」+左手親指を指さす+「最低」+「基準」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>最低 + 基準</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>それ + 最低 + 基準</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>それなり + 最低 + 基準</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>最低 + 基準</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/適する 合う/ + /最低/ + /基準/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>その + 基準 + 最低</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	「当てる」+「最低」+「基準」	東北	●	「関係」+「最低」+「基準」	関東	●	「実際、事実」+左手親指を指さす+「最低」+「基準」	北信越	●	最低 + 基準	東海	●	それ + 最低 + 基準	近畿	●	それなり + 最低 + 基準	中国	●	最低 + 基準	四国	●	/適する 合う/ + /最低/ + /基準/	九州	●	その + 基準 + 最低	● 組み合わせ	「当該」の標準手話はない。9班の案を見ると、いくつかの表現に分かれているが、東海班の案がシンプルで良いということで意見がまとまった。  ⇒<これ>(人差指の先で斜め前方を指さす)+<最低>+<基準>  ※東海班の案を採用
北海道	●	「当てる」+「最低」+「基準」																															
東北	●	「関係」+「最低」+「基準」																															
関東	●	「実際、事実」+左手親指を指さす+「最低」+「基準」																															
北信越	●	最低 + 基準																															
東海	●	それ + 最低 + 基準																															
近畿	●	それなり + 最低 + 基準																															
中国	●	最低 + 基準																															
四国	●	/適する 合う/ + /最低/ + /基準/																															
九州	●	その + 基準 + 最低																															



21	機会	<p>事をするのに最も都合のよい時機。ちょうどよい折。チャンス。 (例:「抜け出す機会をうかがう」「絶好の機会」など) (goo国語辞書)</p>	<p>標準手話なし (学Ⅰ-184では「時B(左手掌)」にある)</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>左手掌に右手拳をのせて回す</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「偶然」を表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>保</td><td>「都合」の右手を大きく回す。</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>△</td><td>都合</td></tr> <tr><td>東海</td><td>△</td><td>偶然 に同じ</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>△</td><td>「～時」の食べる追加</td></tr> <tr><td>中国</td><td>保</td><td>機会</td></tr> <tr><td>四国</td><td>保</td><td>/都合/の手話表現と同じだが動きが小さい</td></tr> <tr><td>九州</td><td>保</td><td>都合</td></tr> </table>	北海道	ア	左手掌に右手拳をのせて回す	東北	●	「偶然」を表現	関東	保	「都合」の右手を大きく回す。	北信越	△	都合	東海	△	偶然 に同じ	近畿	△	「～時」の食べる追加	中国	保	機会	四国	保	/都合/の手話表現と同じだが動きが小さい	九州	保	都合	<p>△ ラベルの追加</p>	<p>9班の案を見ると、近畿班以外は同じ表現(偶然・都合など)だが、ちょっと意味に合わない。 検討した結果、近畿班の案が良いということで意見がまとまった。 ⇒&lt;時B&gt;と同じ ※近畿班の案を採用</p>
北海道	ア	左手掌に右手拳をのせて回す																															
東北	●	「偶然」を表現																															
関東	保	「都合」の右手を大きく回す。																															
北信越	△	都合																															
東海	△	偶然 に同じ																															
近畿	△	「～時」の食べる追加																															
中国	保	機会																															
四国	保	/都合/の手話表現と同じだが動きが小さい																															
九州	保	都合																															
22	国際人道法	<p>武力紛争(戦争)において、負傷したり病気になる兵士、捕虜、そして武器を持たない一般市民の人道的な取り扱いを定めた国際法。「国際人道法」という名称の条約は存在せず。「1949年のジュネーブ四条約」「1977年の二つの追加議定書」「2005年の第3追加議定書」を中心とした、さまざまな条約と慣習法の総称が「国際人道法」。(日本赤十字社)</p>	<p>標準手話なし (国際+人道+法・法律)?</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「国際」+「人道」+「法」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「国際」+「人道」+「法」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「国際」+「協力、助ける」+「モラル、常識」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>国際 + マナー + 法</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>国際 + 人道 + 法</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>国際 + 人道 + 法</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>国際 + 人 + 道 + 法</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/国際/ + /人道/ + /法/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>国際 + 人道 + 法</td></tr> </table>	北海道	●	「国際」+「人道」+「法」	東北	●	「国際」+「人道」+「法」	関東	●	「国際」+「協力、助ける」+「モラル、常識」	北信越	●	国際 + マナー + 法	東海	●	国際 + 人道 + 法	近畿	●	国際 + 人道 + 法	中国	●	国際 + 人 + 道 + 法	四国	●	/国際/ + /人道/ + /法/	九州	●	国際 + 人道 + 法	<p>&lt;国際C&gt; △ ラベルの追加  &lt;人道&gt; ○合成  &lt;国際人権法A&gt; ● 組み合わせ  &lt;国際人権法B&gt; ● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、&lt;世界&gt;の表現を「国際」として使っている班が多い。 標準手話&lt;国際&gt;はそのまま使うとして、&lt;世界・国際C&gt;のラベルを作り、それぞれを組みあわせることに。 また、&lt;人道&gt;の単独ラベルも作ることに。  &lt;国際C&gt; ⇒&lt;世界&gt;と同じ &lt;人道&gt; ⇒&lt;人々&gt;と&lt;主義&gt;の合成  &lt;国際人権法A&gt; ⇒&lt;国際&gt;+&lt;人道&gt;+&lt;法・法律&gt; ※北海道班・北信越班・近畿班・中国班の案を採用  &lt;国際人権法B&gt; ⇒&lt;世界・国際C&gt;+&lt;人道&gt;+&lt;法・法律&gt; ※東海班の案を採用</p>
北海道	●	「国際」+「人道」+「法」																															
東北	●	「国際」+「人道」+「法」																															
関東	●	「国際」+「協力、助ける」+「モラル、常識」																															
北信越	●	国際 + マナー + 法																															
東海	●	国際 + 人道 + 法																															
近畿	●	国際 + 人道 + 法																															
中国	●	国際 + 人 + 道 + 法																															
四国	●	/国際/ + /人道/ + /法/																															
九州	●	国際 + 人道 + 法																															
23	国際人権法	<p>国際人権法は、国際的なルールのうち人権に関するさまざまな条約の総称。(アムネスティ日本)  人権に関する国際法の一分野。世界人権宣言と国際人権規約からなる国際人権章典を中心とし、子どもの権利条約・女性差別撤廃条約・人種差別撤廃条約・拷問等禁止条約などの人権条約、およびそれらを実施するための制度から成り立つ。 (デジタル大辞林)</p>	<p>標準手話なし (国際+人権+法・法律)?</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「国際」+「人権」+「法」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「国際」+「人権」+「法」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「国際」+ 二指を立てた左手の甲側をに沿って右手で包み込む + 「法」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>国際 + 人権 + 法</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>国際 + 人権 + 法</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>国際 + 人権 + 法</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>国際 + 人権 + 法</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/国際/ + /人権/ + /法/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>国際 + 人権 + 法</td></tr> </table>	北海道	●	「国際」+「人権」+「法」	東北	●	「国際」+「人権」+「法」	関東	●	「国際」+ 二指を立てた左手の甲側をに沿って右手で包み込む + 「法」	北信越	●	国際 + 人権 + 法	東海	●	国際 + 人権 + 法	近畿	●	国際 + 人権 + 法	中国	●	国際 + 人権 + 法	四国	●	/国際/ + /人権/ + /法/	九州	●	国際 + 人権 + 法	<p>&lt;国際人権法A&gt; ● 組み合わせ  &lt;国際人権法B&gt; ● 組み合わせ</p>	<p>No.22「国際人権法」と同様に、&lt;国際&gt;と&lt;世界・国際C&gt;のそれぞれを使うことに。  &lt;国際人権法A&gt; ⇒&lt;国際&gt;+&lt;人権B&gt; (&lt;人々&gt;と&lt;力・～権&gt;の合成)+&lt;法・法律&gt; ※北海道班・北信越班・近畿班・中国班・四国班の案を採用  &lt;国際人権法B&gt; ⇒&lt;世界・国際C&gt;+&lt;人権B&gt; (&lt;人々&gt;と&lt;力・～権&gt;の合成)+&lt;法・法律&gt; ※東北班・東海班・班の案を採用</p>
北海道	●	「国際」+「人権」+「法」																															
東北	●	「国際」+「人権」+「法」																															
関東	●	「国際」+ 二指を立てた左手の甲側をに沿って右手で包み込む + 「法」																															
北信越	●	国際 + 人権 + 法																															
東海	●	国際 + 人権 + 法																															
近畿	●	国際 + 人権 + 法																															
中国	●	国際 + 人権 + 法																															
四国	●	/国際/ + /人権/ + /法/																															
九州	●	国際 + 人権 + 法																															
24	自国	<p>自分の国。自分の生まれた国、または、自分が国籍をもつ国。 (goo国語辞書)</p>	<p>標準手話なし (自分自身+国・国家)?</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>①「自分」+「国」 ②「生まれる」+「国」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「自分」+「国」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「自分」+「国」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>自分 + 国</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>自分 + 国</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>自分 + 国</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>自分 + 国</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/自分/ + /国/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>自分 + 国</td></tr> </table>	北海道	●	①「自分」+「国」 ②「生まれる」+「国」	東北	●	「自分」+「国」	関東	●	「自分」+「国」	北信越	●	自分 + 国	東海	●	自分 + 国	近畿	●	自分 + 国	中国	●	自分 + 国	四国	●	/自分/ + /国/	九州	●	自分 + 国	<p>● 組み合わせ</p>	<p>9班の案の動画を見ると、微妙に異なるがだいたい似た表現。「自国」は日本とは限らないので、標準手話&lt;国・国家&gt;を正しく表すことが大切。 ⇒&lt;自分自身&gt;+&lt;国・国家&gt; (親指と4指) ※近畿班・四国班の案を採用</p>
北海道	●	①「自分」+「国」 ②「生まれる」+「国」																															
東北	●	「自分」+「国」																															
関東	●	「自分」+「国」																															
北信越	●	自分 + 国																															
東海	●	自分 + 国																															
近畿	●	自分 + 国																															
中国	●	自分 + 国																															
四国	●	/自分/ + /国/																															
九州	●	自分 + 国																															
25	武力紛争	<p>軍事的な衝突全般をさす。戦争に際して武力紛争が起ることは当然であるが、自衛権の行使、強制措置などにおいても生じる。(コトバンク)</p>	<p>標準手話なし (軍隊・武力+紛争)? または(撃つB・尼崎B+紛争)?</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「鉄砲」+「混乱」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「武力」+「戦争」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎</td><td>中指と親指で輪を作った両手を向い合せ掌を打ちつけ+両手4指を曲げて合わせ小刻みに水平に動かす。</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>ぶつかる + 戦争</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>撃つ + 紛争</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>軍 + 戦争</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>尼崎 + 戦争</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/銃を持つ様子/ + /紛争/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>武力 + 紛争</td></tr> </table>	北海道	●	「鉄砲」+「混乱」	東北	●	「武力」+「戦争」	関東	◎	中指と親指で輪を作った両手を向い合せ掌を打ちつけ+両手4指を曲げて合わせ小刻みに水平に動かす。	北信越	●	ぶつかる + 戦争	東海	●	撃つ + 紛争	近畿	●	軍 + 戦争	中国	●	尼崎 + 戦争	四国	●	/銃を持つ様子/ + /紛争/	九州	●	武力 + 紛争	<p>● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、1動作目は鉄砲を撃つ動作と、軍、ぶつかるなどの表現に分かれている。 また2動作目は、戦争と紛争に分かれている。状況をイメージできて良いが、検討した結果、今ある手話の組み合わせとすることに。 ⇒&lt;兵庫・軍隊・武力&gt;+&lt;紛争・葛藤&gt; ※四国班・九州班の案を採用</p>
北海道	●	「鉄砲」+「混乱」																															
東北	●	「武力」+「戦争」																															
関東	◎	中指と親指で輪を作った両手を向い合せ掌を打ちつけ+両手4指を曲げて合わせ小刻みに水平に動かす。																															
北信越	●	ぶつかる + 戦争																															
東海	●	撃つ + 紛争																															
近畿	●	軍 + 戦争																															
中国	●	尼崎 + 戦争																															
四国	●	/銃を持つ様子/ + /紛争/																															
九州	●	武力 + 紛争																															
26	捜査段階	<p>裁判になる前の段階。(弁護士法人まこと共同法律事務所) 事件が発生すると、捜査機関(警察・検察)は、犯人を特定し、証拠を集めて真相を把握しようとする。この段階が捜査の段階です。犯人だと疑われている人(被疑者あるいは容疑者)は、場合によっては、逮捕・勾留され、証拠収集・真相解明のための手段の一つとして、警察官や検察官から取調べを受けることとなります。 (弁護士中田雅久・刑事事件専門WEBサイト)</p>	<p>標準手話なし (捜査+段階(わ10-157))?</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「捜査」+「段階」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「捜査」+「段階」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「調べる」+「検察」+「推進する」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>調べる + 中</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>捜査 + 中</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>捜査 + 途中</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>調べる + 途中</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/捜査/ + 指文字コ を上に上げる(段階)の意味</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>調べる + 中</td></tr> </table>	北海道	●	「捜査」+「段階」	東北	●	「捜査」+「段階」	関東	●	「調べる」+「検察」+「推進する」	北信越	●	調べる + 中	東海	●	捜査 + 中	近畿	●	捜査 + 途中	中国	●	調べる + 途中	四国	●	/捜査/ + 指文字コ を上に上げる(段階)の意味	九州	●	調べる + 中	<p>● 組み合わせ</p>	<p>「捜査」は標準手話がある(新Ⅱ-39)。 9班の案を見ると、調べる+途中、調べる+段階 が多い。 「捜査段階」とは、捜査中の意味なので、今ある手話の組み合わせとすることに。 ⇒&lt;捜査&gt;+&lt;中(ちゅう)&gt; (親指と4指) ※班の案の採用なし</p>
北海道	●	「捜査」+「段階」																															
東北	●	「捜査」+「段階」																															
関東	●	「調べる」+「検察」+「推進する」																															
北信越	●	調べる + 中																															
東海	●	捜査 + 中																															
近畿	●	捜査 + 途中																															
中国	●	調べる + 途中																															
四国	●	/捜査/ + 指文字コ を上に上げる(段階)の意味																															
九州	●	調べる + 中																															
27	刑務官	<p>国民生活の基盤である治安を支え、罪を犯した者を更生に導くことにより再犯を防止し、もって安心・安全な社会を築くという使命を果たす国家公務員。現在、17,500名の刑務官が全国各地の刑事施設(刑務所、少年刑務所又は拘留所)において、勤務に励んでいる。 (法務省 刑務官採用試験)</p>	<p>標準手話なし</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「刑事」+「働く」+「人」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「刑」+「ム」の指文字+「担当」「また」を表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎</td><td>5指で丸を作った両手で鉄格子を数本 + 「仕事」+ 「男」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>牢屋 + 担当</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>刑 + 指文字「む」 + 人</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>刑 + 働く + 官</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>刑務所 + 監視 + 人</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/刑務/ + /パッチ/ (職員)の意味</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>刑 + 営(親指)</td></tr> </table>	北海道	●	「刑事」+「働く」+「人」	東北	●	「刑」+「ム」の指文字+「担当」「また」を表現	関東	◎	5指で丸を作った両手で鉄格子を数本 + 「仕事」+ 「男」	北信越	●	牢屋 + 担当	東海	●	刑 + 指文字「む」 + 人	近畿	●	刑 + 働く + 官	中国	●	刑務所 + 監視 + 人	四国	●	/刑務/ + /パッチ/ (職員)の意味	九州	●	刑 + 営(親指)	<p>● 組み合わせ</p>	<p>9班の案を見ると、関東班や信越班などの「牢屋」の表現もなるほど分かりやすい。他に、働く、監視、指文字「ム」などいろいろある。 検討した結果、 ⇒&lt;刑&gt;+&lt;責任・役割・担当&gt;+&lt;男&gt; ※東北班と近畿班の案を合体</p>
北海道	●	「刑事」+「働く」+「人」																															
東北	●	「刑」+「ム」の指文字+「担当」「また」を表現																															
関東	◎	5指で丸を作った両手で鉄格子を数本 + 「仕事」+ 「男」																															
北信越	●	牢屋 + 担当																															
東海	●	刑 + 指文字「む」 + 人																															
近畿	●	刑 + 働く + 官																															
中国	●	刑務所 + 監視 + 人																															
四国	●	/刑務/ + /パッチ/ (職員)の意味																															
九州	●	刑 + 営(親指)																															

28	〇〇かつ	「ふたつの事柄や行為が並行して行われている」状態を意味します。また、ある事柄に対して、もうひとつの事柄を加える「更に」「その上」の意味も持つ表現。「且つ」は事柄同士を並行させるのではなく、付け加える働きをする接続詞。(マイナビニュース)	標準手話なし	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「また」を表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>△</td><td>「さらに」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>△</td><td>また</td></tr> <tr><td>東海</td><td>◎</td><td>人差し指を立てた後、中指をつまむ</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>ア</td><td>上に加える</td></tr> <tr><td>中国</td><td>△</td><td>また</td></tr> <tr><td>四国</td><td>△</td><td>/また/ あるいは /さらに/その上/ の表現</td></tr> <tr><td>九州</td><td>法</td><td>さらに</td></tr> </tbody> </table>	北海道	×		東北	●	「また」を表現	関東	△	「さらに」	北信越	△	また	東海	◎	人差し指を立てた後、中指をつまむ	近畿	ア	上に加える	中国	△	また	四国	△	/また/ あるいは /さらに/その上/ の表現	九州	法	さらに	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、文章などによって表現が異なるという意見もあった。検討した結果、今回は1つに絞ることに。 ⇒<もっと・加えるB>と同じ ※関東班・近畿班・九州班の案を採用
北海道	×																																
東北	●	「また」を表現																															
関東	△	「さらに」																															
北信越	△	また																															
東海	◎	人差し指を立てた後、中指をつまむ																															
近畿	ア	上に加える																															
中国	△	また																															
四国	△	/また/ あるいは /さらに/その上/ の表現																															
九州	法	さらに																															
29	マスメディア	「不特定多数に対し、多様な情報を伝達する手段・媒体」のこと。「mass」は大衆・大勢・集団という意味、「media」は媒体。直訳すると大衆の媒体となる。一般的に認知されているマスメディアには、新聞・テレビ・雑誌・ラジオがある。(共同通信PRワイヤー)	標準手話なし	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「マスコミ」+「メディア」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「ま」の指文字+「メディア」「また」を表現</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「普及」+「メディア」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>メディア + 放送</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>多種 + メディア</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>ア</td><td>みんな + メディア</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>集団 + メディア</td></tr> <tr><td>四国</td><td>○</td><td>左手で指文字マ + その上に指文字メ (メディアの意味)</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>非利き手は(C) マスコミ + 利き手はメ (メディア)</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	「マスコミ」+「メディア」	東北	●	「ま」の指文字+「メディア」「また」を表現	関東	●	「普及」+「メディア」	北信越	●	メディア + 放送	東海	●	多種 + メディア	近畿	ア	みんな + メディア	中国	●	集団 + メディア	四国	○	左手で指文字マ + その上に指文字メ (メディアの意味)	九州	●	非利き手は(C) マスコミ + 利き手はメ (メディア)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、指文字とメディアの合成表現や、集団・多種・普及などの組み合わせなど、工夫されている。検討した結果、北海道班の案がシンプルで良いということ。 ⇒<マスコミュニケーション>+<メディア> ※北海道班の案を採用
北海道	●	「マスコミ」+「メディア」																															
東北	●	「ま」の指文字+「メディア」「また」を表現																															
関東	●	「普及」+「メディア」																															
北信越	●	メディア + 放送																															
東海	●	多種 + メディア																															
近畿	ア	みんな + メディア																															
中国	●	集団 + メディア																															
四国	○	左手で指文字マ + その上に指文字メ (メディアの意味)																															
九州	●	非利き手は(C) マスコミ + 利き手はメ (メディア)																															
30	潜在能力	人の内面に隠れた能力のこと。直感的な感覚や感性などを司る右脳と関係があるといわれている。(ハッピーライフ)	ポテンシャル(潜在能力)(2006年12月確定)あるも未発表『曲げた左手の肘の下に(左<強い>の形)、右「て(掌下)」を滑り入れる』(力・能力と隠すの合成)	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>左手掌に右手人差指の指先をのせ、顔へ向ける(隠れる)+「力」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「保存」+「能力」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「保存」+「賢い」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>隠れる + 力</td></tr> <tr><td>東海</td><td>◎</td><td>左手で力の下に右手を隠し、力</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>ア</td><td>しまう + 力</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>深く + 能力</td></tr> <tr><td>四国</td><td>○</td><td>頭のところで/隠す/ + /力/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>裏 + 力</td></tr> </tbody> </table>	北海道	ア	左手掌に右手人差指の指先をのせ、顔へ向ける(隠れる)+「力」	東北	●	「保存」+「能力」	関東	●	「保存」+「賢い」	北信越	●	隠れる + 力	東海	◎	左手で力の下に右手を隠し、力	近畿	ア	しまう + 力	中国	●	深く + 能力	四国	○	頭のところで/隠す/ + /力/	九州	●	裏 + 力	○ 合成	9班の案を見ると、組み合わせの表現が多い。2006年に確定するも未発表だったポテンシャル(潜在能力)>があるので、それを改めて使うことに。 ⇒曲げた左手の肘の下に(左<力>の形)、右「て(掌下)」を滑り入れる( <力・能力>と<隠す>の合成) 班の案を採用
北海道	ア	左手掌に右手人差指の指先をのせ、顔へ向ける(隠れる)+「力」																															
東北	●	「保存」+「能力」																															
関東	●	「保存」+「賢い」																															
北信越	●	隠れる + 力																															
東海	◎	左手で力の下に右手を隠し、力																															
近畿	ア	しまう + 力																															
中国	●	深く + 能力																															
四国	○	頭のところで/隠す/ + /力/																															
九州	●	裏 + 力																															
31	記念物	「記念物」とは、以下の文化財の総称。【史跡】…貝塚、古墳、都城跡、城跡旧宅等の遺跡で我が国にとって歴史上または学術上価値の高いもの【名勝】…庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳等の名勝地で我が国にとって芸術上または鑑賞上価値の高いもの【天然記念物】…動物、植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの(文化庁HP)	標準手話なし	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>「場所」+ 左腕に右手5指を同時に下ろしながら指を握る</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「記念」+「物」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「記念」+「いろいろ」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>△</td><td>大切(もったいない)</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>記念 + もの</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>覚える + 物</td></tr> <tr><td>中国</td><td>保</td><td>記念 + 物</td></tr> <tr><td>四国</td><td>保</td><td>こめかみを指さし 手を握る(記念) + /物/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>記念 + いろいろ</td></tr> </tbody> </table>	北海道	ア	「場所」+ 左腕に右手5指を同時に下ろしながら指を握る	東北	●	「記念」+「物」	関東	●	「記念」+「いろいろ」	北信越	△	大切(もったいない)	東海	●	記念 + もの	近畿	●	覚える + 物	中国	保	記念 + 物	四国	保	こめかみを指さし 手を握る(記念) + /物/	九州	●	記念 + いろいろ	● 組み合わせ	<記念>+<物> の組み合わせで良いだろう。標準手話の<記念>の動作を確認すると、『開いた右手を顔に沿って下ろしながら握る』9班の案を見ると、<覚える>を使う班があるが、標準手話を採用することに。 ⇒<記念(わ4-193)>+<物・物質> 班の案を採用
北海道	ア	「場所」+ 左腕に右手5指を同時に下ろしながら指を握る																															
東北	●	「記念」+「物」																															
関東	●	「記念」+「いろいろ」																															
北信越	△	大切(もったいない)																															
東海	●	記念 + もの																															
近畿	●	覚える + 物																															
中国	保	記念 + 物																															
四国	保	こめかみを指さし 手を握る(記念) + /物/																															
九州	●	記念 + いろいろ																															
32	知的財産権	知的な創作活動によって何かを創り出した人に対して付与される、「他人に無断で利用されない」といった権利。(文化庁HP) 知的財産の種類は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、回路配置利用権、著作権、著作隣接権、育成者権、営業秘密などがある。(税関HP)	標準手話なし(知的財産(労働DVD)十～権)?	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>右手人差指の指先をこめかみにあて、斜め上がる + 「財産」+「権利」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「チ」の指文字+「的」+「財産」+「権」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「思いつく」+「作る」+「財産」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>知識 + 財産 + 権利</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>こめかみに右手の指文字「ち」を当て、「的」+「財産」</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>知識 + 財産 + 権利</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>偉い + 財産 + 権</td></tr> <tr><td>四国</td><td>保</td><td>こめかみに指文字チを当てる(知的) + /財産/ + /権/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>ひらめく + 的 + 財産 + 権利</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	右手人差指の指先をこめかみにあて、斜め上がる + 「財産」+「権利」	東北	●	「チ」の指文字+「的」+「財産」+「権」	関東	●	「思いつく」+「作る」+「財産」	北信越	●	知識 + 財産 + 権利	東海	●	こめかみに右手の指文字「ち」を当て、「的」+「財産」	近畿	●	知識 + 財産 + 権利	中国	●	偉い + 財産 + 権	四国	保	こめかみに指文字チを当てる(知的) + /財産/ + /権/	九州	●	ひらめく + 的 + 財産 + 権利	● 組み合わせ	9班の案を見ると、「財産」の表現が異なるが、ほとんどが似た表現。標準手話の<財産>は、右手はお金。標準手話を採用することに。 ⇒<知識>+<合う・～的>+<財産>(右手はお金)+<力・能力・～権> 班の案を採用
北海道	●	右手人差指の指先をこめかみにあて、斜め上がる + 「財産」+「権利」																															
東北	●	「チ」の指文字+「的」+「財産」+「権」																															
関東	●	「思いつく」+「作る」+「財産」																															
北信越	●	知識 + 財産 + 権利																															
東海	●	こめかみに右手の指文字「ち」を当て、「的」+「財産」																															
近畿	●	知識 + 財産 + 権利																															
中国	●	偉い + 財産 + 権																															
四国	保	こめかみに指文字チを当てる(知的) + /財産/ + /権/																															
九州	●	ひらめく + 的 + 財産 + 権利																															
33	できる限り	可能な範囲で限界に達するまで。できるだけ。なるべく。なるだけ。(コトバンク)	標準手話なし	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「できる」+「範囲」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>◎</td><td>「できる」+「まで、最後」をゆっくり表す。</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>できる + 範囲</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>できる + 範囲</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>出来る + 範囲</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>できる + 限り</td></tr> <tr><td>四国</td><td>ア</td><td>/できる/ + 広げた手をやや左右にやや動かす(範囲)のアレンジ</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>できる + 範囲</td></tr> </tbody> </table>	北海道	×		東北	●	「できる」+「範囲」	関東	◎	「できる」+「まで、最後」をゆっくり表す。	北信越	●	できる + 範囲	東海	●	できる + 範囲	近畿	●	出来る + 範囲	中国	●	できる + 限り	四国	ア	/できる/ + 広げた手をやや左右にやや動かす(範囲)のアレンジ	九州	●	できる + 範囲	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、2動作目、範囲、限界に分かれている。<限界>の方が意味に合っているということで意見がまとまった。 ⇒<限界>と同じ 班の案を採用
北海道	×																																
東北	●	「できる」+「範囲」																															
関東	◎	「できる」+「まで、最後」をゆっくり表す。																															
北信越	●	できる + 範囲																															
東海	●	できる + 範囲																															
近畿	●	出来る + 範囲																															
中国	●	できる + 限り																															
四国	ア	/できる/ + 広げた手をやや左右にやや動かす(範囲)のアレンジ																															
九州	●	できる + 範囲																															
34	任務	責任をもって果たすべきつとめ。(例:「任務を遂行する」など)(goo国語辞書)	標準手話なし	<table border="1"> <tbody> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「仕事」+「責任」</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「仕事」+「担当」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>①「仕事」+「任せる」 ②「仕事」+「任される」</td></tr> <tr><td>北信越</td><td>●</td><td>責任 + 仕事</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>任される + 仕事</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>担当 + 仕事</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>責任 + 努力</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>/責任/ + /仕事/</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>担当 + 仕事</td></tr> </tbody> </table>	北海道	●	「仕事」+「責任」	東北	●	「仕事」+「担当」	関東	●	①「仕事」+「任せる」 ②「仕事」+「任される」	北信越	●	責任 + 仕事	東海	●	任される + 仕事	近畿	◎	担当 + 仕事	中国	●	責任 + 努力	四国	●	/責任/ + /仕事/	九州	●	担当 + 仕事	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<仕事>+<責任> <責任>+<仕事> に分かれている。採決の結果、前者を採用することに。 ⇒<職業・仕事・働く>+<責任> 班の案を採用
北海道	●	「仕事」+「責任」																															
東北	●	「仕事」+「担当」																															
関東	●	①「仕事」+「任せる」 ②「仕事」+「任される」																															
北信越	●	責任 + 仕事																															
東海	●	任される + 仕事																															
近畿	◎	担当 + 仕事																															
中国	●	責任 + 努力																															
四国	●	/責任/ + /仕事/																															
九州	●	担当 + 仕事																															



35	遂行	<p>任務や仕事をやりとげる こと。 (例:「業務を遂行する」 など) (goo国語辞書)</p> <p>「業務を遂行する」とは、 与えられた仕事を責任を 持って最後までやり遂げ ることをいう。(ことわざ・ 慣用語の百科事典)</p>	標準手話なし	北海道	ア	「する」	△ ラベルの追加	<p>9班の案を見ると、努力+頑張る、最後+やる などの 組み合わせ表現が見られるが、検討した結果、今ある手話 にラベルを追加することに。</p> <p>⇒&lt;する・行為・執行&gt;と同じ</p> <p>※北海道班・関東班・北信越班のA・近畿班の案を採用</p>
				東北	●	「進む」+「メ」		
				関東	△	「やる」(力強く)		
				北信越		A やる B 最終 + 解決		
				東海	●	努力 + がんばる		
				近畿	ア	「実行する」を強く表す		
				中国	●	最後 + やる		
				四国	●	/する/ + /解決する/		
				九州	●	する + 解決		
36	最多数	最も多いこと。	標準手話なし	北海道	●	「最高」+「多数」	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、率、たくさん、算数などに分かれ、 語順も分かっている。</p> <p>検討した結果、関東班・東海班の案を採用することに。</p> <p>⇒&lt;最高&gt;+右手&lt;多いA&gt;(親指から順に折る)</p> <p>※関東班・東海班・班の案を採用</p>
				東北	●	「数」+「最高」		
				関東	●	「最高」+「多い、たくさん」		
				北信越	●	数 + 最高		
				東海	●	最も + 多数		
				近畿	◎	一番 + 数が多い		
				中国	●	最高 + 多い		
				四国	●	/数/ + /最高/		
				九州	●	最高 + 数		
37	事務総長	<p>国際連合や、日本の衆議 院・参議院などで、事務を 統括する最高職。 (goo国語辞書)</p> <p>現国連事務総長(2017年 ~)を務めるのは、アント ニオ・グテーレス氏。</p>	標準手話なし	北海道	●	「事務」+「まとめ」+「長」	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、「事務」と「長」の表現が異なる。 標準手話の「事務」の表現を確認するも、単独ラベルは無 く、掲載される用語によって、左手の添え方などが異な る。検討した結果、&lt;福祉事務所&gt;の2動作目の表現を採 用することに。</p> <p>また、「長」は、左手甲に右手親指を下から上げて載せる 表現と、&lt;~長・王&gt;とに分かれている。 検討した結果、&lt;~長・王&gt;の表現を採用することに。</p> <p>⇒&lt;福祉事務所(わ1-46)&gt;の2動作目+ &lt;まとめる・総合&gt;+&lt;~長・王&gt;</p> <p>※北海道班・東北班・関東班・北信越班・班の案を採用</p>
				東北	●	「事務」+「まとめ」+「長」		
				関東	●	「事務」+「まとめる」+「長」		
				北信越	●	事務 + 総合 + 長		
				東海	●	事務 + まとめ + 長		
				近畿	●	事務 + 総合 + 長		
				中国	●	事務 + まとめ + ポス		
				四国	●	/事務/ + /まとめ/ + /長/		
				九州	●	事務 + 長		
38	書簡	<p>手紙。書状。 (例:「書簡をしたため る」など) (goo国語辞書)</p>	標準手話なし	北海道	●	「書く」+「袋」	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、封入して郵送 の表現があるが、名詞 なので合わない。書いて封入 がよい、ということに。</p> <p>⇒&lt;書くA&gt;(左手は掌上向き指先前向き) + &lt;袋B&gt;(封入の動作)</p> <p>※北海道班と近畿班の案を合体</p>
				東北	◎	「書く」+「紙」		
				関東	保	縦書きで数行書く + 両手人差指で四角い紙。		
				北信越	●	封筒 + 郵便		
				東海	△	手紙 に同じ		
				近畿	◎	左手を紙に見立てて、右手でそれに手紙を書く様子		
				中国	●	書く		
				四国	△	/手紙/ と同じ表現		
				九州	●	封筒に入れる + 送る		
39	辞任	<p>今まで自分がついていた 任務を辞退すること。任 務を自分の意志でやめる こと。辞職。</p>	標準手話なし (引退・退位(2020-8) と同じ? または やめるC(わ7- 137)?)	北海道	●	「責任」+「やめる」	△ ラベルの追加	<p>9班の案を見ると、&lt;やめるC(わ7-137)&gt;の班がある が、多数決の結果、関東班の表現(左手甲から右手親指を 下ろす)が良いということで意見がまとまった。</p> <p>⇒&lt;引退・退位&gt;と同じ</p> <p>※関東班の案を採用</p>
				東北	●	「降りる」を表現		
				関東	保	「退任」		
				北信越	保	A ちょん髷を切る仕草 B 左掌からすぼめた右掌を降ろす		
				東海	●	役 + 引退		
				近畿	△	やめる		
				中国	●	責任 + 降りる		
				四国	●	/責任/ + /辞める/		
				九州	●	両手で両肩からポイ		
40	任命	<p>ある官職や役目に就くよ う命じること。 (例:「適任者を所長に任 命する」など) (goo国語辞書)</p>	標準手話なし	北海道	○	「責任」+ 左手親指下にあてる	● 組み合わせ	<p>9班の案を見ると、任せる、命じるなどに分かれている。 標準手話の「命令」「指令」などの表現を確認し、 &lt;指名(わ4-184)&gt;の表現が合う、ということに。 また、左手を親指にするか、人差指にするか意見が分かれ た。</p> <p>親指は「男」だけでなく、広く「人」を意味するが、これ は男性社会の名残でもあり、現状に合わないのではない か。ただ、何でもかんでも人差指に代えてしまうのもど うか? かって取捨がつかなくなる可能性もある。今後も 引き続き研究課題とする。</p> <p>⇒&lt;責任・役割・担当&gt;+&lt;指名&gt;(右手人差指の先 を左手親指に向けて出す)</p> <p>※北信越班・東海班・近畿班の案を採用</p>
				東北	●	「担当」+「指令」		
				関東	●	「指示」+「任せる」		
				北信越	●	責任 + 命令		
				東海	●	役 + 命じる、役 + 命ぜられる		
				近畿	●	担当 + 指さす		
				中国	●	責任 + 人 + 任せる		
				四国	●	左手人差し指を立て(人) + その指に向けて /任せ る/		
				九州	●	非利き手は親指をたてる + 非利き手で親指を指し示す		